

平成27年度 二島中だより

平成27年4月10日

北九州市立二島中学校

校長 森 隆

No. 1

春の新しい年度を迎え、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、昨年度は二島中学校30周年という節目の年にあたり、記念式典参列や記念品のステンドグラス作成など通常では味わえない素晴らしい経験をすることができました。そして、今年度は31年目という新たな出発の時を迎えました。前任の松浦校長の後を受け、本校の校長に就任しました「森 隆」です。昨年度は本校の教頭をしていましたので、二島中学校の良さを十分に理解しているつもりです。入学式と始業式の式辞の中で、二島中の良き伝統について触れましたが、「校歌の全校合唱」と「挨拶」は最高です。二島中学校の良き伝統を受け継ぎながら、更に素晴らしい学校にしていきたいと考えていますので、ご協力ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

○ 離任式

【別れの挨拶をする先生方】



【最後の言葉を真剣に聞き、別れを惜しむ生徒達】



○ 始業式後の全校集会

【生徒会の各委員長が発表】



【今年度赴任してこられた生徒指導主事のお話】



○ 入学式

【真新しい標準服に身を包んだ新入生】



【在校生代表のこたば】



【新入生誓いのことば】

【合唱部・生徒会執行部による校歌の合唱】



さて、2・3年生には、始業式で「自分の夢や目標を叶えるための勉強が大切です。そして、その勉強は、毎日の教科の授業だけでなく、日々の学校生活から部活動に至るまで、すべてが勉強です。」とお話しました。

また、子どもたちは日々の学校生活の中で、悩み、不安と闘うことで、大きく成長しています。悩みや不安と闘う子供たちとそれを見守る我々教師や保護者の参考になればと、次のワンポイントコーナーをご紹介します。参考にして頂けると幸いです。

ワンポイントコーナー

テーマ： 「心のモヤモヤを解き放つ」

「友達と喧嘩して、自分がどう思われているのか悩む」「その人が嫌いで、その人から好かれようとして悩む」でも、好かれることをあきらめてしまえば、悩みません。「将来何になれば自分は幸せなのだろう？どんな夢を持てばいいのか分からない」でも、自分がどうなっても良い。別に楽しく幸せな人生を送ることをあきらめてしまえば、悩み、不安になることはありません。全て、自分が「こうしたい」「こうあれば良い」と思ったことをあきらめてしまえば、楽になり、悩まないし、不安にならないのです。しかし、悩み・不安を持っているということは、将来へ向けて、自分から「こうしたい・こうありたい」という可能性を考え、努力しているということです。だから、今は大いに悩み、不安と闘いながら、中学校の生活を送っていくことが大切なのです。「心のモヤモヤ」とは、「やるべき事を取り組まず、ただじっとして変化していない状態」のことです。悩み・不安に対して失敗を恐れず、やらされるのではなく、自らが進んで実践する。そう決心した瞬間から心のモヤモヤを解き放つことができるのです。皆さんは、心のモヤモヤから逃げ出さず、失敗してもあきらめず、積極的に、一所懸命生きていれば、見る見る成長します。そして、いつの間にか成長した自分が愛おしくなり、自信が持てるようになります。そこでさらに、自分の「やりがい」や「人生の目標」を中学卒業後、高校や大学、また就職し、社会の荒波に揉まれながら見つけて行くのです。

大いに悩み、不安と闘いましょう！前途ある自分の将来のために！